

恵那農林事務所農業普及課の普及活動報告 令和8年8月

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■ 酒米「酔むすび」 生産者と酒蔵で意見交換を実施

「酔むすび」は中山間農業研究所で育成された酒造好適米であり、主に、東濃・恵那地域で栽培されている。令和6年度には、生産者や関係機関で構成する「酔むすび産地づくり研究会」が設立され、生産技術の平準化や品質向上に取り組んでいる。

8月27日に開催された本年度2回目となる現地検討会では、酒蔵関係者を招いて収穫前の生育状況や酒米の特性に関する研究成果を共有した。また、地域ごとに生産者、関係機関及び酒蔵が一つの班となり、意見交換を行った。意見交換では、酒蔵から、「地元産の酒米を使用することは、商品の魅力や販売時の説得力につながる」との意見が出され、生産者と酒蔵が連携した酒造りの可能性について活発な議論が行われた。

今回出された意見を踏まえ、農業普及課では、引き続き栽培指導を行うとともに、生産者と酒蔵の連携によるPR活動を推進し、多くの人や地域を結びつける取り組みを進めていく。

(地域支援係)



【現地検討の様子】